

組織培養で増殖したオオシマザクラ「桜株」が里帰り ～東京都と住友林業による「TOKYO サクラプロジェクト」第1弾～

東京都(知事:小池 百合子)と住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎
本社:東京都千代田区、以下「住友林業」という。)は、組織培養技術を用い、大島に自生する推定樹齢 800 年のオオシマザクラ「桜株(さくらっかぶ)」の増殖に成功、苗木は1mほどに成長しました。こうしたことから3月8日、東京都と住友林業は伊豆大島にて植樹式を実施しました。

今回の事業は、平成31年に東京都と住友林業が開始した「TOKYO サクラプロジェクト」の第1弾です。

また、住友林業が持つ組織培養技術を、国指定の特別天然記念物に対し用いたのは今回が初めてです。

両者は、今後も都内の自然公園に生育するサクラやサクラ以外の稀少な植物種の保護増殖に取り組みます。



大島支庁長(右)及び
住友林業中村センター長(左)による植樹



オオシマザクラの「桜株」(幹周 6.95m)



桜株の培養苗



TOKYO サクラプロジェクトのロゴ

※ TOKYO サクラプロジェクトは東京都と住友林業との間で平成30年4月4日に締結した、「自然公園事業に関する連携協定」に基づいています。連携協定の詳細については、以下の【前回報道発表1】を参照してください。また、TOKYO サクラプロジェクトの詳細については、【前回報道発表2】を参照してください。

※ 住友林業による組織培養の詳細については【参考資料】をご覧ください。

【前回報道発表1】

東京都・住友林業 <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/03/29/29.html>

住友林業 <https://sfc.jp/information/news/2018/2018-04-04.html>

【前回報道発表2】

東京都・住友林業 <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/04/10/13.html>

《リリースに関するお問い合わせ先》

東京都環境局自然環境部緑環境課
TEL:03-5000-1450

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
TEL:03-3214-2270

《名木・貴重木の後継樹育成に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社 森林・緑化研究センター
TEL:03-3214-3635

【参考資料】

当社はこれまで様々な神社仏閣や自治体が管理する名木や貴重木の後継樹を育成するため、組織培養・接ぎ木・種子により苗を増殖してきました。増殖した苗が確実に同じ形質(花や葉など)を受け継いでいるかを確認するため、形態観察や遺伝子による鑑定をしています。

■今後の取り組み

住友林業は全国のサクラ約 250 種の DNA データベースを保有しています。今後、東京で育成されたサクラの品種鑑定を進めることで DNA データベースを拡充し、東京に縁のある品種レパートリーを充実させます。これによって東京都の各地域に相応しいサクラの植栽等のサービス提供を進めます。

当社は、サクラのほかにも全国の名木・貴重木の後継樹育成に関するご相談をお受けしています。詳しくは「森林・緑化研究センター」(https://sfc.jp/treecycle/tree_utilization/)まで、お問合せください。

■名木の増殖実績

1998年7月	世界初フタバガキ科樹木の組織培養による増殖に成功
2000年4月	世界初シダレザクラ(京都・醍醐寺)の組織培養による増殖に成功
2009年3月	小田原・紹太寺の「長興山しだれ桜」の組織培養による増殖に成功
2010年2月	京都・仁和寺の「御室桜」の組織培養による増殖に成功
2011年4月	品川区・清岸寺の「祐天桜」の組織培養による増殖に成功
2011年12月	陸前高田市の「希望の松」後継樹育成に成功
2012年2月	京都・仁和寺の「泣き桜(揚道桜)」の組織培養による増殖に成功
2012年4月	鎌倉・安国論寺の「妙法桜」の組織培養による増殖に成功
2013年3月	広島大学附属高等学校と共同「エバヤマザクラ」の組織培養による増殖に成功
2015年3月	世界初鑑賞梅(京都北野天満宮「紅和魂梅」)の組織培養による増殖に成功
2015年4月	世界初ソメイヨシノ(土浦市天然記念物“真鍋のサクラ”)の組織培養による増殖に成功
2016年4月	京都・北野天満宮の「北野桜」の組織培養による増殖に成功
2019年2月	福島・南相馬市天然記念物「泉の一葉マツ」の後継樹(実生苗)の育成に成功
2020年10月	長浜観光協会所有の盆梅(樹齢350年~400年)3品種の組織培養による増殖に成功

■京都府・醍醐寺の「太閤しだれ桜」の例(世界初の組織培養によるシダレザクラの増殖)



材料となる枝



芽の中にある分裂組織を顕微鏡で摘出



培養液の中で育てて2カ月の状態



培養6カ月



培養7カ月



外の条件に慣らしている状態



「太閤しだれ桜」(2015年3月31日撮影)